

四日市市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成30年3月16日

四日市市長 森 智 広

四日市市規則第8号

四日市市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則
四日市市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則（平成13年四日市市規則第30号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(子どもに係る受給資格証)</p> <p>第5条 市長は、前条の規定に基づき資格を認定した者に、子ども医療費受給資格証（第2号様式及び第3号様式。以下「受給資格証」という。）を交付する。</p>	<p>(子どもに係る受給資格証)</p> <p>第5条 市長は、前条の規定に基づき資格を認定した者に、子ども医療費受給資格証（第2号様式。以下「受給資格証」という。）を交付する。</p>
<p>(受給資格証の有効期間等)</p> <p>第6条 (略)</p> <p>2 受給資格証の有効期間の終期は、毎年8月31日（療養の給付を受ける未就学児が6歳に達する場合は、当該未就学児が6歳に達する日以後の最初の3月31日。）とする。ただし、子ども及び対象者が条例第2条第1項及び第3条各号に規定する要件を満たさなくなったときは、満たさなくなった日の前日とする。</p>	<p>(受給資格証の有効期間等)</p> <p>第6条 (略)</p> <p>2 受給資格証の有効期間の終期は、毎年8月31日とする。ただし、子ども及び対象者が条例第2条第1項及び第3条各号に規定する要件を満たさなくなったときは、満たさなくなった日の前日とする。</p>
<p>(子どもに係る助成の申請)</p> <p>第9条 (略)</p>	<p>(子どもに係る助成の申請)</p> <p>第9条 (略)</p>

2 (略)

3 受給資格者（未就学児に係る医療費の助成を受けようとする者に限る。以下この項において同じ。）が、条例第6条の規定により四日市市内の医療機関等において受給資格証を提示して、保険診療を受けたときは、前項の規定にかかわらず、当該医療機関等から提供される情報に基づき三重県国民健康保険団体連合会又は社会保険診療報酬支払基金から市長に当該保険診療に要した費用の額その他助成の額の算定に必要な事項が通知されたことをもって、第1項の申請が受給資格者からあったものとみなす。

4 (略)

(助成決定)

第10条 (略)

2 市長は、前項の決定をしたとき（四日市市内の医療機関等において受給資格証を提示して、未就学児が保険診療を受けたときを除く。）は、子ども医療費助成決定通知書（第8号様式）により受給資格者に通知するものとする。

2 (略)

3 (略)

(助成決定)

第10条 (略)

2 市長は、前項の決定をしたときは、子ども医療費助成決定通知書（第8号様式）により受給資格者に通知するものとする。

第3号様式を次のように改める。

第3号様式（第5条関係）

表面

子ども医療費受給資格証	
受給資格証番号	
受給資格者	住所
	氏名
加入医療保険	生年月日
	被保険者氏名
	記号・番号
	名称等
有効期限	年月日から年月日まで
年月日	四日市市長 市四三 長日重 印市県

四日市 市内のみ有効 現物給付 子ども医療費受給資格証 (対象年齢0-6歳)	
公費負担者番号	
受給資格証番号	
有効期限	年月日から年月日まで
受給資格者	住所
	フリガナ氏名
	生年月日
年月日	四日市市長 市四三 長日重 印市県

四日市市長 市四三
長日重
印市県

四日市市外へ転出した場合等、資格喪失後は使用できません。万が一使用した場合は、四日市市への返金が発生しますので、証は速やかに返却してください。

裏面

現物給付方式にかかる注意事項	
1	市内の医療機関等で診療を受けるときは、必ず健康保険証とともにこの受給資格証を医療機関等の窓口へ提示してください。
2	市内医療機関等においても、現物給付方式に対応していない場合がありますので、受診の前に医療機関等にご確認ください。
3	【国民健康保険ご加入の方】入院等で高額な医療費が発生する場合は、国民健康保険から発行された限度額適用認定証を提示した場合のみ現物給付方式で助成します。
4	この受給資格証を提示しなかった場合は、医療費を支払い、後日受給資格証を医療機関等の窓口へ提示してください。その場合は、償還払い方式で助成します。
5	他の公費負担制度の証をお持ちの場合は、この受給資格証とともに必ず医療機関等の窓口へ提示してください。
6	保険給付の対象にならない医療費は、助成の対象となりませんので、医療機関等の窓口でお支払いください。
7	入院時の食事療養費標準負担額は、医療機関等の窓口でお支払いください。
8	次の場合、市に医療費を返還していただきます。 ・医療保険から高額療養費等が支給された場合 ・資格喪失後に、この受給資格証を使用した場合
9	転出等で資格を喪失したときは、速やかにこの受給資格証を返還し、使用しないでください。
	【現物給付方式】医療費を窓口負担しないことで助成を受ける方式 【償還払い方式】医療費を窓口負担し口座振込で助成を受ける方式

注 意 事 項	
1	この証は、四日市市子どもの医療費の助成に関する条例により医療助成費の支給を受けることができる証ですから大切に保持してください。
2	診療等を受けるときは、毎月1回必ず医療保険証とともに医療機関の窓口へ提示してください。
3	医療費の助成の取り扱いは、 ①県内の医療機関等で受診した場合は、本証の提示によって医療費の助成の申請がなされたとみなされます。 ②医療費助成の給付は、保険給付を受けた日の属する月の翌月の初日から起算して2年以内です。
4	加入している医療保険又はこの証に記載されている事項に変更があったときは、必ず市役所に届け出てください。
5	この証を破ったり、汚したり又は失ったりしたときは、再交付を受けてください。
6	転出、死亡等により受給資格を失ったとき又は有効期限を経過したときは、この証を返還してください。
	問い合わせ先 四日市市総合会館 3階 こども保健福祉課 TEL (059)354-8083

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の四日市市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則の規定は、この規則の施行の日以後に行われる診療に係る医療費の助成から適用し、同日前に行われた診療に係る医療費の助成については、なお従前の例による。

(こども未来部こども保健福祉課)